

- 古文に**可能動詞**はない
- 古語でザ行に活用する上二段動詞はない。
「ジ・ズ」などと発音されるものは、全てダ行の動詞である。
- 上一段活用は「**ひいきにみゐる**」で覚える。
大抵原型で「る」がついたら上一段活用である可能性が高い。
- 下一段活用は「**蹴る**」の一語のみである。
- 力変「**来**」には語幹と語尾の区別がない
- 本来のサ変には「**す**」と「**おわす**」の二語のみしかないが、「**す**」は他の語と結びつき多くの複合語をつくる。
- ナ行に活用する四段動詞はなく、ナ行は全て変格活用である。
- 「**いまそかり**」は（いますがり、いまそがり、いまそがり）と表されることもある。
- 「**あり**」は他の語と結びついて多くの複合語を作る。
- 形容詞の活用表の右側を**本活用**、左側を**補助活用**と呼ぶ
- 語尾が濁って「**じ**」になることもある。
- 語頭に「**いと（とても）**」をつけても意味の通じるものが形容動詞。

たら	なら	しく しから	く から	ら	な	せ	こ	i	i	e	け	a	む・ず	未然形
とたり	に なり	しく しかり	く かり	り	に	し	き	i	i	e	け	i	たり・て	連用形
たり	なり	し	し	り	ぬ	す	く	u	いる	u	ける	u	言い切り	終止形
たる	なる	し しかる	き かる	る	ぬる	する	くる	u る	いる	u る	ける	u	とき ・こと	連体形
たれ	なれ	し しけれ	けれ	れ	ぬれ	すれ	くれ	u れ	i れ	u れ	けれ	e	ども・ど	已然形
たれ	なれ	しか れ	かれ	れ	ね	せよ	こ よ	i よ	i よ	e よ	けよ	e	命令	命令形
タリ活用	ナリ活用	シク活用	ク活用	ラ行変格活用	ナ行変格活用	サ行変格活用	カ行変格活用	上二段	上一段	下二段	カ行下一段	四段		活用の種類
堂々たり 朦朧たり 茫々たり	静かなり あからさまなり	うれし 悲し すさまじ をかし	なし 難し 少なし	さり あり か かり しかり	死ぬ 往ぬ 去ぬ	す おはす ご覧す	来	恥ず 老ゆ 悔ゆ 報ゆ 恨む 古る	着る 似る 煮る 見る 居る 率る	受く 寝 植う 得 経 飢う	蹴る	行く 会ふ 飽く 借る 足る		例

動詞の分類

①変格活用 or 下一段活用「蹴る」 or 上一段活用「ひいきにみゐる」ではないかを識別する。

↓

②未然形で識別

「aず」…四段活用

「iず」…上二段活用

「eず」…下二段活用

形容詞の分類

◦未然形にしたとき、語頭に「し」がつくかないかで分類

形容動詞の分類

◦終止形にした時「なり」か「たり」かを分類。

音便

- ・「イ音便」→「い」に変化
- ・「ウ音便」→「う」に変化
- ・「撥音便」→「ん」に変化
- ・「促音便」→「っ」に変化